

農山村の地域資源を次世代に

『都市と農山村をつなぐボランティア活動』

とちぎ夢大地応援団

平成29年度の活動の様子



佐野市多田地区

5月



11月



日光市土呂部地区



鹿沼市中粕尾地区

とちぎ夢大地応援団の平成29年度の活動は、これまでに佐野市多田地区（5、11月）、日光市土呂部地区（9月）、鹿沼市中粕尾地区（9月）で、それぞれ行われました。（次ページから詳細）

はばたけ夢大地

第23号 2017/11

とちぎ夢大地応援団事務局
(公財)栃木県農業振興公社
栃木県農政部農村振興課



佐野市 多田地区 「再生農地の刈り払い」

佐野市多田地区の柴田保全会（毛利昭一郎会長）のとちぎ夢大地応援団活動が5月20日、応援団員23名、地元柴田保全会員6名の合計29名が参加して、再生農地の草刈りを行いました。

旧田沼町の国道293号線沿いにある同地区は、5年前から春秋の年2回、柴田保全会員と応援団員が力を合わせて地区内の耕作放棄地の解消に取り組み始め、灌木や雑草が生い茂る約4haの放棄地の農地への再生を図ってきました。

真夏日となった同日、ボランティア団体栃木ナルクの会員10名を含む夢大地応援団員と地元の人たちで、山際にあるため池周辺や背丈以上に伸びたヨシ原などの草刈りに大汗を流しました。応援団員の中には、とちぎ夢大地応援団の活動をホームページで知り参加を申し込み、福島県南相馬市の震災復興ボランティアから帰宅途中に立ち寄ってくれた愛知県の68歳の男性もあり、他の参加者たちと交流を深めていました。

昼食後の交流会では、毛利会長が「応援団のおかげで耕作放棄地が農地に再生できつつある。今後、一部に花ショウブを植えて花を楽しむ計画がある」と話していました。



草を刈った後は下のとおり
きれいになりました



昼食会場で毛利会長を囲んで参加者間の交流会のようす



日光市 土呂部地区 「耕作放棄地の草刈り」

土呂部地区のとちぎ夢大地応援団活動は9月10日、昨年と同じく日光市社会福祉協議会主催のボランティアイベント「土呂部へ行こう!!～草刈りボランティア活動&“D”カレーのつどい～」との合同で実施されました。参加者は、とちぎ夢大地応援団関係者14名、日光市社会福祉協議会ボランティア9名、地元自治会員15名、その他関係者を含め48名で、3班に分かれて地区内の耕作放棄地等の草刈りを行いました。

夢大地応援団は、父親と一緒に参加した男子高校生やボランティア団体ナルク栃木の5名の会員、夢大地のホームページを見て愛知県から参加した60代の男性などで、草刈り機や鎌を使って背丈ほどにも伸びた雑草を刈り払い、約3時間にわたって地区内4カ所約30aの耕作放棄地をきれいにしました。

作業のあとは、土呂部公民館で昼食を兼ねた地元の人たちとの交流会が開かれ、地元でとれた野菜がふんだんに入ったカレーやトウモロコシ、漬物などが参加者に振る舞われました。



地元の人たちとの作業前の打合せで自己紹介を行う夢大地応援団員



地区内4カ所の草刈りを行いました



親子で参加した男子高校生が草刈機に初挑戦



地元の野菜がたくさん入ったカレーに舌鼓

9月24日
実施

鹿沼市 中粕尾地区 「水路清掃・遊休農地の草刈り」

「'17夢大地グランドワークinかすお」が9月24日、和田用水ホタルの里親水公園及び周辺農地等で開催されました。当日は夢大地応援団員29名（一般会員11名、県農政部職員18名）や地元育成会・ホタルの里の会関係者など総勢85名が、ホタル棲息地の水路清掃（主に外来植物のコカナダモの除去や草刈り、泥上げ）や遊休農地の草刈り、生き物観察や水路脇等の休耕田への小松菜の種まきを行いました。

今年の活動では、昨年の活動に引き続き公園近くの荒れた農地約30aの草刈りが加わり、応援団員11名と地元の方とで雑草の刈払いを約2時間にわたり行いました。

水路清掃の後に行われた生き物観察では、自然観察員・渡辺知義さんの指導のもと、子どもたちが採集した水辺の生き物を大人たちも一緒に観察しました。参加した県農政部の若手職員は、さまざまな水辺の生き物を見つけることができ、楽しかったと感想を話していました。

昼食は、地元の女性たちが腕を振るった地元産食材たっぷりのけんちん汁やおにぎり、刺身コンニャクやゆで卵などが振る舞われました。昼食の後の交流会では、参加者が感想を述べ合うなど地元の人と交流を深め合い、最後に記念撮影をして散会しました。



作業は水路清掃と草刈り班に分かれて行われました



休耕田への小松菜の種まきも行いました



地区恒例の生き物観察会は大人も興味津々



▼交流会で感想を述べる応援団員

11月4日
実施

佐野市 多田地区 「再生農地の刈り払い」

佐野市多田地区の柴田保全会（毛利昭一郎会長）のとちぎ夢大地応援団活動が11月4日、応援団員29名、地元柴田保全会員7名の合計36名が参加して、再生農地の草刈りを行いました。

この日は、ボランティア団体栃木ナルクの会員9名や栃木県農政部の若手職員8名を含む夢大地応援団員と地元の人たちとで約2haの草刈りや以前に刈った草の集積に汗を流しました。毛利会長は「今年は再生農地活用について一歩前進を図るため、これから花ショウブの球根を植えたり白クローバーの種をまいたりして、ぜひ花を咲かせたい」と交流会の席上で今後の計画を語っていました。



「みなさんの応援は大変ありがたい」と開会のあいさつを行う毛利柴田保全会会長（右端）

草刈り隊は、背丈より高く伸びたセイタカアワダチソウやカヤなどと2時間半にわたって格闘



手鎌隊は、ぬかるんだ足場の悪い所で以前に刈られた草の集積作業を行いました



再生農地の一角に植える花ショウブの球根と白クローバーの種

平成29年度これからの予定

—自主地区（継続実施地区）—

佐野市 下秋山地区 11月26日に草刈りを行います。

—新規地区（今年度初めて取り組む地区）—

塩谷町 上沢地区 11月26日に地区内の山林に獣害防止柵の設置を行います。



獣害防止柵設置予定の山林

—とちぎ夢大地応援団カレッジ活動の予定—

今年度は宇都宮大学の学生を対象に実施します。

第1回 平成29年11月26日 塩谷町上沢地区

とちぎ夢大地応援団活動にあわせ、獣害防止柵の設置を行います。

第2回 平成29年12月10日 大田原市両郷地区

園芸ハウス内の管理作業や手づくりカマドでのピザ焼き体験を行います。

第3回 平成30年1月中下旬 佐野市下秋山地区

山ブドウ栽培用パイプハウスの設置作業を予定しています。

◎活動の詳細は農業振興公社ホームページ（とちぎ夢大地応援団の案内）をご覧ください。

◎とちぎ夢大地応援団活動は、県と農業振興公社が募集・活動の支援を行っています。

とちぎ夢大地応援団事務局

(公財) 栃木県農業振興公社

栃木県農政部農村振興課
中山間地域担当

<http://www.tochigi-agri.or.jp/yumedaichiouendan/index>

〒320-0047 宇都宮市一の沢2-2-13
TEL 028-648-9515 FAX 028-648-9517
〒320-8501 宇都宮市塙田1-1-20
TEL 028-623-2334 FAX 028-623-2337

とちぎ夢大地応援団

